

西脇東中学校区・黒田庄中学校区統合懇談会会議録

審議会等の名称	西脇東中学校区・黒田庄中学校区第6回統合懇談会
開催日時	令和6年7月27日(土) 午後2時～4時
開催場所	市民交流施設はぐくむスタジオ
出席委員の氏名又は人数	15人
欠席委員の氏名又は人数	18人
出席オブザーバーの氏名又は人数	1人
出席職員の職・氏名又は人数	事務局 11人
公開・非公開の別	公開(別室でモニターによる視聴)
非公開の理由	—
傍聴人の数	4人
議題又は協議事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 教育長あいさつ</li> <li>3 協議・調整事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 部活動について</li> <li>(2) 改修コスト等について</li> <li>(3) その他</li> </ol> </li> <li>4 意見交換等 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 第5回意見交換まとめ</li> <li>(2) 意見交換1(前回続き)</li> <li>(3) 意見交換2(自由討議)</li> </ol> </li> <li>5 その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 事務局からの報告等</li> <li>(2) その他</li> </ol> </li> <li>6 閉会</li> </ol>
会議の記録(概要)	

発言者	
事務局	1 開 会
教育長	2 教育長あいさつ
委員長	3 協議・調整事項
事務局	(1) 部活動について 今後の部活動について事務局から説明
委員	質疑応答
事務局	部活の話と統合の話はどういう繋がりがあるのかよくわからない。
委員	当初のアンケート等で部活動は今後どうなるのかという学校間の連携などをイメージされたと思われる質問があったので、今後の動向ということで説明した。
委員	部活の地域移行の話は前年の黒っこプラザでの説明会の時、西脇東中だと地域の会社で手芸をさせてもらえるなどメリットがあるような話をしてきたが、その延長で出てきている話だと思う。今年、来年の2年間だけでは地域移行は難しいと思うので、長期的に環境整備していくことを考えていただきたい。 ネットで日本全国のお母さん対象にアンケート取ったデータを見たが、800名前後のお母さんが回答している。半分の方は地域移行を知っており、半分は知らないという現状で、都心の方は人や会社も多く協力者も見つけやすいが、地方に行けば行くほど移行しにくい状態だと現役の教員の方は回答されていた。 西脇は地方なので、スポーツ系の部活は割と地域の方が見ている現状だが、文科系の活動は移行しにくい状態だと思う。これからどうなっていくかわからないので長期的視野で取り組んでいただけたらと思う。

<p>教育長</p>	<p>部活動の地域移行に関しては、先日神戸新聞にも載った通り、検討会議が7月1日に立ち上がり、協議を1回行ったところである。地域の実態によって民間支援の状態も異なり、実態に応じた対応が望まれるのは理解をしている。従って、決定したものではないという前提つきで国が示す背景的な方針を資料の中で説明した。資料18ページは統合対象の2つの中学校の、今年5月の子どもたちの入部状況の数字を示している。試合のときは合同チームで2つの学校合わせて大会に出ていくという例は令和5年度にもあった。地域移行を踏まえて持続可能な状態にしていくことを、これからの協議の中で方向性を示すことになると考える。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>(2) 改修コスト等について 改修コスト等について事務局から説明</p> <p>質疑応答</p>
<p>委員</p>	<p>プレハブはどういうものを幾つほど建てるのか。また、図書室など校舎にある狭い特別教室を変える考えはあるのか。実習に関わる教室はそのままなのか。美術教室の狭さは使いづらいと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>増築校舎に関しては、資料3に補足の資料を用意している。仮設の建物ではなく常設の増築校舎ということで前回説明させていただいた。想定規模のイメージは2階建てで、1階にトイレ、普通教室が1室あり、2階に普通教室が2室ある。普通教室は大体60平米ぐらいの教室を想定している。普通教室3室とトイレで合計約400平米の規模になる。400平米の規模であれば、東中学校の校舎と校舎の間の中庭に収まるサイズなので、校舎等の使い勝手を踏まえると中庭に建てるのがよいと考えている。</p> <p>2つ目の図書室や特別教室が狭いので改修の予定はあるかという質問だが、費用想定をして</p>

<p>委員</p>	<p>きた段階では改修は見込んでいない。ただ、西脇東中を使うことになった場合、何ができるか事後的には考えていく必要はあると考える。</p>
<p>教育長</p>	<p>それでは困る。どんな改修をするのか先に決めるべきではないか。学校が決まって後から考えるでは疑問が残る。</p>
<p>委員</p>	<p>図書室と特別教室についてどのように扱うかという話だが、懇談会第3回目の両校舎見学の際、最初のオリエンテーション時に、この2つの校舎は建設当時の生徒の規模に応じて作られた校舎である。黒田庄中学校の場合は当時の1学年3～4学級という人数規模に設置をした校舎であり、西脇東中学校の場合は、1学年2学級の生徒数を想定したものであることを理解した上でご覧いただきたいとお願いした。従って統合によって生じる人数がどのように変化し、どの程度重要視するのか。例えば、市内の小中学校の図書室の大きさは学校によって多少異なるが、学級文庫と図書室をローテーションしながら図書を入れ替えたり、廊下などを使って移動の図書コーナーを設置して活用している例もある。様々な例があり、トータルして決定した後で考える部分も残しているということで判断いただきたい。</p>
	<p>ランニングコストが3,500万円となっているが、東中採用の場合の仮設校舎については、10年後に解体する説明が当初あったと思う。いわゆる増築校舎に伴うランニングコストは一切発生しないという整理でよろしいか。2点目は、バスによる通学支援が発生するが、それに伴う歩道の整備や周辺環境の工事は一切加味してないのか。3点目は、以前もお伝えした通り黒田庄中学校の体育館の屋根劣化への対応は避難施設の修繕を放置しており、防災安全上の観点から直すものであって、統合に伴う工事費として一括計上するのは趣旨が違うと思う。</p>

事務局	<p>増築校舎に関して今回計上しているのは増築校舎の新築時の費用のみであり、解体費はランニングコストやイニシャルコストに計上していない。2点目の周辺の道路環境の整備費用についても見込んでいない。3点目の避難所に関することは前回の会議で防災安全課からの回答もお配りしているが、あくまで避難所の指定は、学校施設として健全な状態で使えるということ为前提として避難所指定をしており、体育館屋根改修の主たる目的は学校施設を健全な状態で使うということを主眼にしているのご理解いただきたい。</p>
委員	<p>ランニングコストが一切かからないということは増設する校舎についてはいわゆるレンタルでいずれ解体するというものではなくて、常設が前提ということによろしいか。</p>
事務局	<p>以前、リースを想定して説明した経緯もあるが、今回の費用計上はリースではなく新築費を一括で4億8000万の中に見込んでおり、リース料は発生しない。</p>
委員	<p>建設以降はリース料が一切ないということか。</p>
事務局	<p>普通の建物を建てたときと同様にリースではなく買い取りというイメージである。一括で建設費を支払い終わるという形である。</p>
事務局	<p>昨年の説明会で説明したリースの想定は明石市の増築校舎の例を用いて説明した。明石市のリースは5年計画で、5年後に買い取る契約で分割をしている。</p>
委員	<p>資料2の概算工事費等で4億8000万円と出ているが、私たちが見学したり話し合いをしてきた中で必要といった内容になっており、委員はわかっていると思うが、その他は何があるのか</p>

事務局	<p>わからない。各改修工事にどれぐらいの費用がかかるのか詳細がなく、学校を決定した後に追加工事などが発生し、コストが膨らんで当初の説明と異なることになるかと想像されるが、もう少し踏み込んで明細を提示できないか。</p> <p>新しい学校が発足する中で発生する工事について想定をしているが、実際に開校準備を進める中で様々な意見が出てくると想定している。今詳細を出したとしても、決定した後の工事段階で変わるところもたくさん出てくると考えられる。今の段階で詳細を出すと議論が引っ張られることもあるので、基本的には10数年学校を運営していく中で必要な工事を事務局で想定した。決定後の運営方針によっても変わるので、この辺りでとどめたいと事務局で判断した。</p>
委員	<p>どちらかに決定後、両PTAや地域の人からの意見の汲み上げはしていただけるのか。</p>
事務局	<p>開校準備の中で出た案などはこの額の範囲内で対応できると考えている。</p>
委員長	<p>4 意見交換等</p>
事務局	<p>(1) 第5回意見交換まとめ 事務局から前回のまとめの説明</p>
委員長	<p>(2) 意見交換1 まず第1ステップ、個人で重要と思う敷地外要因を3つ選んでいただく。前回委員からでた意見をまとめた資料4-1、4-3の中から選び、色付きの付箋に書いていただきたい。</p> <p>～グループワーク 個人記入（両校）～</p>
委員長	<p>各グループに白い付箋を3枚渡すので、グループの見解を理由付きで3つ書いていただきたい。グループで意見交換を始めてほしい。</p>

	<p style="text-align: center;">～グループワーク グループ内意見交換（両校）～</p> <p>委員長</p> <p>各グループの統一見解を3つずつ発表いただく。西脇東中学校と黒田庄中学校を続けて、Eグループからお願いしたい。</p> <p>Eグループ</p> <p>黒田庄中学校のいいところは、1点目、JRの駅が近いということで通学の利便性が図られる。2点目は通学路が整備されており安心安全な通学の確保ができる。3点目は、黒田庄グラウンドが近くスポーツクラブの練習の活用が見込まれる。</p> <p>西脇東中学校のいいところの1点目は、青年の家が近く合宿などに活用しやすい。2点目はへそ公園が近くテラドームなどで専門的な学習機会を得ることができる。3点目は城山公園が近いということでクラブ活動に活用しやすい点が挙げられた。</p> <p>Dグループ</p> <p>西脇東中学校の方は、地域の人の見守りが手厚いということ、2番目は地元企業が多くトライやるなどに協力してくれるところが多い、3番目はゴルフ場があるということで、ゴルフがやりたい子がいたらしやすいかなと思う。</p> <p>黒田庄中学校は見守り活動が活発で安全、2番目は大山病院が近いので何かあったときに安心、3番目は通学路が広く安全なこと。</p> <p>Cグループ</p> <p>まず西脇東中学校は、城山公園が近いところで、中学校のグラウンドで使用が困難な場合は、サブグラウンドとして利用が可能。2点目は地元企業が多いというところでトライやるなどを通じて交流を深めるところ、3点目は比延地区の自治会の活動が活発と言うことが上がった。</p> <p>黒田庄中学校は、JRの駅が近く通学が便利、大山病院が近いところで急遽何かあったときに対応ができる。3つ目は通学路が整備をされていて、通学が安全ではないかという3点。</p>
--	---

B グループ

黒田庄中学校の方は、JRの駅から近く理由としては夜間の移動もスムーズで危険が少ないこと、2つ目が通学路の安全、子どもの安全面という理由。お帰り運動の実施が3つ目で、犯罪の抑制や、子どもの安全面ということで選ばれた。

西脇東中学校は、地域の見守り活動、こちら子ども安全面が理由となる。2つ目は城山公園が近いことで部活でもトレーニングなどで利用できる。3つ目は地元企業が多く、企業の連携協力が得られると思った。

A グループ

西脇東中学校は、近くにグラウンド公園があり、活動が広がり部活動練習試合等分かれて活動ができる。2つ目は地元企業が多く、トライやるウィークなどで連携の協力がられやすい。3つ目は地域の見守り活動が熱心な点。

黒田庄中学校の1つ目は通学路の安全、周辺道路が整備され通学路が広くて通学しやすく、親も子ども安心できる。2点目は大山病院が近く、何かあったときに緊急に対応がしていただける。3つ目はJRの本黒田駅が中学校から近いこと。

委員長

以上学校の敷地外の重要なものを3つ選んで理由も書いていただいた。前回からの続きの意見交換はここまでにして、子どもたちの学習環境にとって重要な今までに、でてきていないテーマについて意見交換する必要があるというご意見がありましたので、これにつきまして事務局の方から、段取りの説明をいただく。

委員長  
事務局

- (3) 意見交換 3  
事務局から自由討議の進め方について説明

～自由討議 テーマの個人記入～

<p>委員長</p>	<p style="text-align: center;">～意見を書いた付箋を壁に貼る～</p> <p>皆さんから、今までに出てきていない話すべきテーマについてご意見いただいた。事務局がまとめているので、賛同できると思うテーマについて、赤のシールを1人3枚渡しているので付箋に投票してほしい。同じものにはならないで、1人3つ選んでいただきたい。</p> <p style="text-align: center;">～意見確認 賛同できる意見に赤シールを貼る～</p>
<p>委員長</p>	<p>皆さん方からもっと話し合うべきだということについてテーマのご意見をいただき、それに対して賛同できるものにシールを貼っていただいた。時間の関係でこの議論につきましては次回に持ち越したいと思う。</p>
<p>委員長 事務局</p>	<p>5 その他</p> <p>(1) 事務局からの報告等 意向調査の概要について事務局より説明</p> <p style="text-align: center;">質疑応答</p>
<p>委員</p>	<p>意向調査に関して説明があったが、前のボードにも意向調査に関しては3名の方がシールを貼っている。意向調査は最終的な判断材料の上で非常にハードルが高く重要な要素だと私は思う。懇談会が終わるというステージが変わるこのタイミングで、文書発送ではなくこれまでの懇談会の総括と、意向調査の意味合い、或いは決定までのプロセスを、保護者の方々、自治会の方々を前に、市教委から説明する場を設ける必要があると思う。これまでの懇談会の様子等は、懇談会通信の発行、ホームページ上での掲示、少数の傍聴者の現状を見ると、あまり多くの方に周知がされていないのが現状だと思う。だからこそ丁寧な説明をするという観点から、また統合を成功させるというポイントから、今回の意向調査に踏み切る前に、対象者に対して</p>

	<p>説明の場の設定を市教委としてとっていただきたい。</p>
委員長	<p>説明会の開催についてご希望が出た。答えられる範囲で回答をお願いします。</p>
事務局	<p>意向調査の前に懇談会で出た意見の総括や内容、意向調査の趣旨等についての説明を事前にやってはどうかというご意見だったと理解している。第7回までに持ち帰って検討させていただきたいと思う。</p>
委員	<p>意向調査の内容に懇談会で出た意見も反映されると思うが、懇談会に参加した我々に事前に承認とは言わないが、メンバー全員で共有することが重要だと思う。</p>
委員長	<p>意向調査の質問書は、次回オープンではないのか。</p>
事務局	<p>先ほどの検討事項とあわせて整理させていただく。</p>
教育長	<p>ホワイトボードに貼られたテーマについて第7回目に意見を伺い、説明を加え、回答し、これが統合懇談会の最終の総括的なものとして広報などに掲載されることによって説明をする形をとることも考えられる。今日預かった意見等について7回目に回答していきたい。</p>
委員長	<p>最後に両副委員長から皆さんに感想などをお願いしますと思う。</p>
副委員長	<p>考えれば考えるほど難しくなってきたような気がする。西脇市の8つの地区それぞれの谷で何百年の間に培ってきた雰囲気の子供たちに伝わっていればと考えており、培ってきたものを大事にしたいというのは初めから思っていた。合併の難しさがますます染みてきたような感じ</p>

